3　資金不足比率の状況

（単位：％）

年度 / 資金不足比率	計画初年度の前年度	計画初年度（平成27年度）		平成28年度（第２年度）		平成29年度（第３年度）	平成30年度（第４年度）	備考
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	
資金不足比率	25.8	15.1	13.8	13.3	14.0	14.9	11.8	資金不足額が70,000千円計画額に届かなかったため。

※　「備考」欄には、当該年度（平成28年度）の計画値と実績値の差異の理由について記載している。

4　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

病院においては日々のミーティングにより課題解決策を迅速に示すほか、市長部局との連携においても、収支状況等の情報提供を定期的に行うことで、課題解決に向けた方策を協議している。

福岡県小竹町　小竹町立病院事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

・常勤医師２名体制から３名体制に増員し、救急輪番日月２日を再開することにより、救急搬送、時間外救急患者の受け入れを積極的に行い、入院患者数の確保に努めた。
・一般名処方、後発医薬品使用体制加算を平成29年２月から算定を開始し、診療報酬単価の増加を図っている。
・近隣医療機関等の非常勤医師報酬の調査を行い、平成29年４月から報酬の見直しを行った。
・外部委託していた院内の環境整備（除草、剪定等）、医師住宅の清掃業務を直営とし、委託料の減を図っている。

2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分 / 年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成28年度）	平成29年度（第２年度）	平成30年度（第３年度）	平成31年度（第４年度）
当初計画　A		△　85,116	△　58,753	36,582	65,164
解消実績額　B		△　42,925	—	—	—
現在計画　C		△　42,925	△　58,753	36,582	65,164
B－A又はC－A		42,191	—	—	—
資金不足額	105,247	148,172	206,925	170,343	105,179

備考

1　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

2　資金不足解消額の平成28年度「解消実績額　B」が「当初計画　A」を下回ったのは、計画の見込みより、入院、外来患者数の実績が上回り、事業の規模が増加したためである。

3　資金不足比率の状況

（単位：％）

区分 / 年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成28年度）		平成29年度（第２年度）	平成30年度（第３年度）	平成31年度（第４年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	22.9	45.9	32.1	43.5	31.8	18.2

4　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・外来、入院患者等を対象に、病院満足度のアンケートを実施。
・経営健全化推進会議ほか院内における会議、ミーティングを実施し、職員の経営改善への意識改革に向けた取組みを行った。